



農業 土木



あかるい未来

農業土木が支える
暮らしやすい宮崎

宮崎県



宮崎県の 農業土木

宮崎県高原町

農業農村整備により築かれた 全国有数の食料供給基地

宮崎県は、古来「日向（ひむか）」の国と呼ばれたように、豊かな日照と温暖な気候に恵まれています。今日、これを生かした多様な農業が展開され、全国有数の食料供給基地となっています。しかしながら、宮崎県の食料供給基地としての地位は一朝一夕に築かれたものではありません。

宮崎県の自然条件は、畑地を中心に分布している火山灰性の不良土壌や急峻な地形に加え、集中豪雨、台風災害、干ばつなど、農業生産にとって厳しい側面も有しています。

古来、農地の開墾、用水の開削など先人の営々とした努力が積み重ねられ、さらに農地の区画の整形・拡大、農業用水施設や農道の整備など農業の生産性を向上させるための基盤整備があってはじめて、厳しい自然条件を克服し、温暖な気候を生かした効率的・安定的な農業生産が可能となってきたのです。

農業農村整備は、生産性向上のための生産基盤の整備、災害に強い農業・農村の実現のための防災・減災対策、農業の担い手の確保や活力ある地域づくりのための農村の生活環境の整備などを行うものです。

また、農業農村整備は、直接の受益者である農家のみならず、農村地域の住民さらには都市に暮らす皆さんの日常生活にも様々な場面で関わっています。

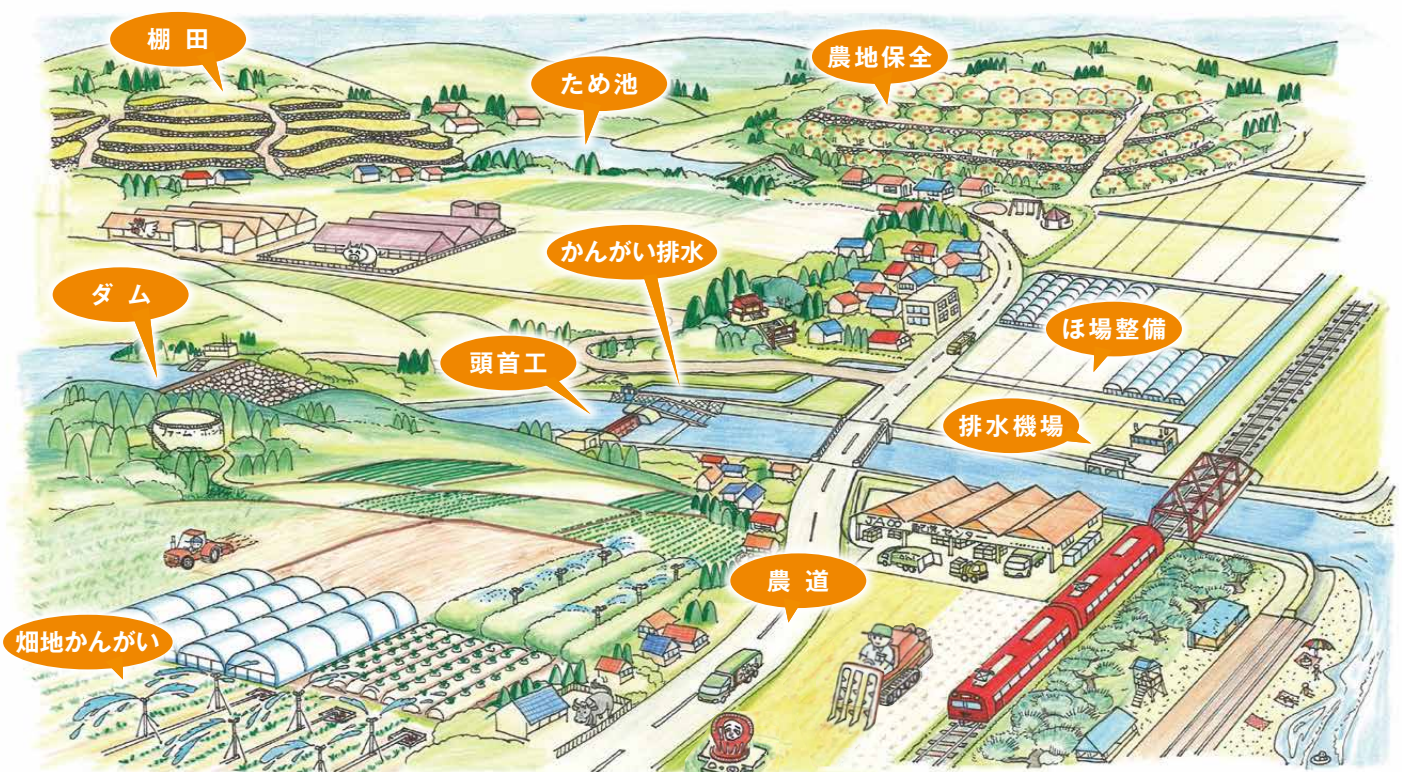


杉安井堰（西都市）



山腹水路（高千穂町）

宮崎の農業農村整備事業



ほ場整備事業

小区画で不整形な農地の区画整理を行い、併せて用水路や排水路、農道、暗渠排水などを総合的に整備することにより、大型機械の導入や水田の汎用化を可能にし、農業の生産性を向上させます。

before



after



広く
整った
ほ場

小区画で
不整形な
ほ場



効率的な
農作業が
可能に!



畑地かんがい事業

(通称:畑かん) ダムなどから安定した農業用水を供給するためのパイプラインなどを整備することにより、天候の影響を受けにくい安定した生産体制を構築します。

before



干ばつに
よる被害

after



畑かん
散水の
様子



国営ダム「浜ノ瀬ダム」(小林市)

国が農業用
ダムを整備し
県がパイプライン
を整備



防災・減災事業

宮崎県は、県土の全域がシラスなどの特殊土壌に覆われ、豪雨などにより浸食を受けやすいため、農地の浸食防止を目的とした排水路の整備や、ため池などを整備することにより、農地や農業用施設、住家、公共施設の被害防止、軽減を図ります。



豪雨により
決壊した
ため池



整備された
農業用
ため池



自然環境
にも配慮した
整備

オニバスが自生する岩淵大池 (木城町)



農業農村整備事業に伴う 美しい農村景観の創出

宮崎県には、農業生産活動により維持されてきた二次的自然と人の暮らしが調和した美しい農村景観が残っています。農業が営まれ、農村に人が居るからこそ維持できる、貴重で美しい景観です。



日本農業遺産「大根やぐら」(宮崎市)



日本の棚田百選「坂元棚田」(日南市)



染ヶ岡地区「きゃべつ畑のひまわり祭り」(高鍋町)



もりびと 農地の守人 1

★宮崎県西諸県農林振興局

せお ひろゆき

瀬尾 公之さん

プロフィール

宮崎大学農学部で農業水利学、林学を学ぶ。「宮崎県の自然豊かな風景を残したい」という思いから、卒業後、宮崎県庁に入庁。現在、勤続4年で、西諸県農林振興局の農村整備課で農地防災を担当している。



宮崎県西諸県農林振興局

★事業内容

宮崎県西諸県地域の農林水産業の推進や地域振興を目的に、関連する事業等を総合的かつ効率的に行っている。

★事業のおおまかな流れ

(農家の要望 → 事業採択 → 調査・測量・設計 → 工事発注)

1年間のスケジュール

調整
関係機関との
地元説明会・

4月

工事発注

・設計積算
・設計図面作成 etc

入札・決定

6月

工事監督

・地元農家及び関係
機関との調整

10月

→

・予算管理
etc

1月

2月

3月

工事検査

竣工



①この仕事に就いたきっかけ

小さい頃から田植え体験やため池で釣りをしていたこともあり、「生まれ育った宮崎県の自然豊かな風景を残すために農業生産基盤整備の仕事に携わりたい」という思いから、今の仕事を志望しました。

②現在の仕事内容

建設コンサルタントや宮崎県土地改良事業団体連合会と連携し工事設計を行い、工事発注後は施工業者の工事監督業務を通して農業の生産基盤の整備を進め、宮崎県の基幹産業である農業を支えています。また、農村の集落道路や生活用水などを供給する施設など生活環境の整備も行っています。

③メッセージ

「農業土木」は「農業」・「農村」を相手とする魅力ある仕事です。農家の方々からの期待など責任も大きいですが、改修された水路や大区画化されたほ場が目に見える形で残り、実際に利用されているのを目にすると「自分の仕事が社会のために役に立っている」ということを実感できます。大変なこともあります。地元の方々から感謝の言葉をいただく機会もあり、前向きに仕事に取り組んでいます。私たちと『魅力ある農業・農村』を一緒に創っていきましょう!

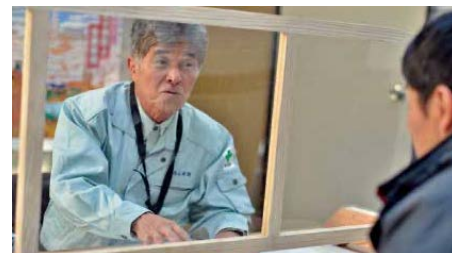
★株式会社 高山建設

いまひがし つとむ

今東 勉さん

プロフィール

宮崎県立小林工業高等学校(現小林秀峰高校)で建築学を学ぶ。卒業後、建築業の世界へ進み、現在の会社で「農業土木」と出会う。勤続22年で、現場を取り仕切る現場監督を務める。



①この仕事に就いたきっかけ

元々、建築業で住宅を作る仕事をしていましたが、転職の際、土木事業も行っている高山建設に入社し、そこで「農業土木」と出会いました。画一された建築業とは違い、でき上がったものが半永久的に地域・公共的に利用され、広く多くの人に安全と利便性をもたらしてくれる「農業土木」に従事することで、農業、ひいては食を支える喜びを感じたところです。

②現在の仕事内容

会社では、建設業全般を総合的に行っていますが、土木部で、畑地かんがい事業などの現場監督を務めています。現場のスケジュール管理や人員配置、安全管理、図面修正など、業務を全般的に任されています。

③メッセージ

「農業土木」は、何もないとこから形になっていくところが醍醐味であり、やりがいでもあります。限られた小さな農地で、いかに能率・効率良く収量を上げるかという日本独特の農法は、ハード・ソフト両面で機械の自動化・効率化が急速に進んでいます。若い皆さんのIoT技術により農業土木分野が発展することを期待しています。

株式会社 高山建設

★事業内容

創業50年の総合建設会社。事業は農業土木分野をはじめ、畜舎等の建築、住宅リフォーム、不動産まで多岐にわたる。

★仕事のおおまかな流れ

工事の流れ



もりびと 農地の守人 3

★株式会社 白浜測量設計

くるぎ ゆうすけ

黒木 祐介さん

プロフィール

九州測量専門学校測量科で、実践を見据えた実習にて、測量基礎・測量理論について学ぶ。卒業後、測量会社を経て別の職種に転職したが、現在の職場へ就職し、勤続8年。技術部主任技師を務める。



株式会社 白浜測量設計

★事業内容

昭和54年創業。土木設計、一般測量、用地測量等、建設コンサルタントとして、宮崎県を中心に様々な公共事業に関わる。

★仕事のおおまかな流れ

畑地かんがい施設の実施設設計（建設コンサルタント業務）

畑地かんがい
詳細設計
路線測量
平面計画
現地踏査
資料整理、
業務計画
の立案



配管設計
数量計算
報告書作成
納品

①この仕事に就いたきっかけ

九州測量専門学校を卒業後、測量会社に就職し、そこで「農業土木」のことを知りました。一度、別の職種に転職しましたが、宮崎県の基幹産業として大きな役割を果たしている農業、特に「農業土木」を通じて、担い手不足、農業従事者の高齢化などの社会問題解決に一役買う事ができればと思い、現在の職場へ就職しました。

②現在の仕事内容

農業用水路・畑地かんがい施設(パイプライン)の実施設設計、ため池の調査、改修の詳細設計から、土地改良施設の管理に必要な完了図書の作成業務など、農業土木分野に関わる様々な業務に携わっています。

③メッセージ

事業の事前説明などで、地域住民の方々に「設計、施工の早期実施」を期待されたときは、強い使命感を感じます。「農業土木」の仕事は多岐にわたりますが、どれも農業生産基盤を整備するやりがいのあるものばかりです。全国上位の農業産出額を誇る宮崎県において、農業は人の食を支える国の基幹産業に位置付けられる大切な仕事です。これからの社会を担う、農業土木技術者を一緒に目指しましょう。



★宮崎県土地改良事業団体連合会
(愛称：水土里ネット宮崎)

あいこう たつり
愛甲 達軌さん

プロフィール
宮崎県立都城農業高等学校農業土木科で農業土木全般について学ぶ。卒業後、宮崎県土地改良事業団体連合会に就職。現在、勤続21年で総務部会員支援課で会員支援を担当している。



①この仕事に就いたきっかけ

高校の農業土木科で基礎知識を学ぶ中で、「農地や道路など、自分が設計したものを形として未来へ残したい」という気持ちから、現在の職場へ就職しました。

②現在の仕事内容

水土里ネット宮崎は、農業生産の基盤となる農地・道路・水路の整備や農村環境の整備を総合的に支えるトータルプランナーです。
地域の農業農村振興に向け、農業土木の技術力発揮による、①『儲かる農業』『防災・減災、国土強靱化』を実現するための計画部門、②農業土木技術に加え、水利施設の維持管理まで考慮した設計部門、③換地部門、④施設管理部門、⑤会員支援部門などがあり、多方面から農業農村をサポートしています。

③メッセージ

現在は会員支援業務を担当しており、そこでは「人」を相手にする機会がたくさんあります。十人十色という言葉があるように、人が集まるところには様々な思いが集まります。その思いのひとつひとつに寄り添えることに、いつもやりがいを感じています。ぜひ、皆さんと一緒に仕事をする日がくることを楽しみにしています。



宮崎県土地改良事業団体連合会

★事業内容
会員である市町村、土地改良区の要望に沿った計画立案から設計、施設の維持管理やデータ蓄積などの様々な事業を行う。

※農業農村整備事業は、地元農家の要望から実際に工事が完了するまで約10年を要します。また、整備された施設は土地改良区(愛称:水土里ネット)が継続的に維持管理を行います。

★事業のおおまかな流れ

事業のスケジュール

本会が携わる農業農村整備事業の標準的なスケジュール

工程	1年目	2～3年目	4～5年目	6年目	7～10年目	11年目	12年目以降
業務	農家の要望	調査計画	事業計画	事業採択	工事	事業完了	施設の維持管理
作業内容	事業推進 ・アンケート ・地元説明会 etc	構想設計 ・現地調査 ・図面作成 etc	計画書作成 ・申請資料作成 ・経済効果算定 etc	実施設計 ・測量 ・設計図作成 etc	施工監理 ・関係者との調整 ・工事検査 etc	改良区の支援 ・会員の相談対応 ・運営体制の強化 etc	保守点検 ・機能診断、管理指導 ・点検、補修等の指導 etc
本会関係課	計画課、換地課		設計課、換地課		会員支援課		

団体（連絡先）

■宮崎県 農政水産部 農村計画課

TEL 0985-26-7128 E-mail nosonkeikaku@pref.miyazaki.lg.jp

農業土木
県職員
技術系職員
採用案内



■宮崎県土地改良事業団体連合会 愛称：水土里（みどり） ネット宮崎

TEL 0985-24-3022（本部） TEL 0986-25-4694（南部事務所）

■一般社団法人 宮崎県建設業協会

TEL 0985-22-7171
E-mail info@miyazaki-kenkyo.or.jp



■一般社団法人 宮崎県測量設計業協会

TEL 0985-39-9638
E-mail kyokai@mspa.or.jp



「農業土木」を
目指す皆さんに
先輩からの
メッセージ！



宮崎県で農業土木分野を学べる高校・大学

■国立大学法人 宮崎大学

農学部 森林緑地環境科学科



■宮崎県立 宮崎農業高等学校

環境工学科



■宮崎県立 都城農業高等学校

農業土木科



一般社団法人 農業土木事業協会



創立50周年記念事業 特設サイト

未来への扉をひらけ、次世代を担うエンジニア

※農業土木が学べる他県の大学も紹介しています

地球規模で考え、

現場で実践せよ。

農業農村工学の世界

